

# 消費税率引上げ後の消費動向等 について（5月第4週）

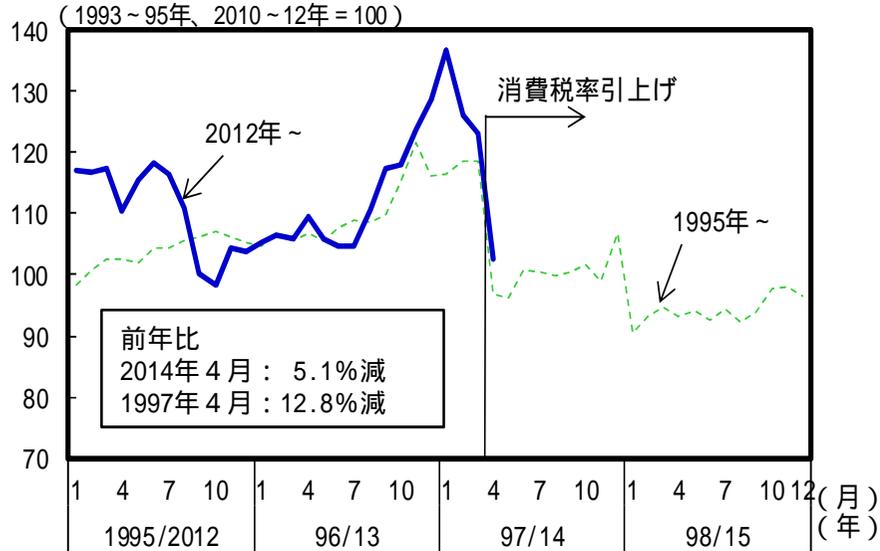
平成26年5月30日

内閣府

# 自動車・家電販売の動向

自動車販売は、受注残の下支えもあって、4月は前年比で約5%減にとどまった。ただし、足下の受注は弱いので、先行きは慎重にみる必要がある。

新車販売台数（含軽）（1997年頃との比較）



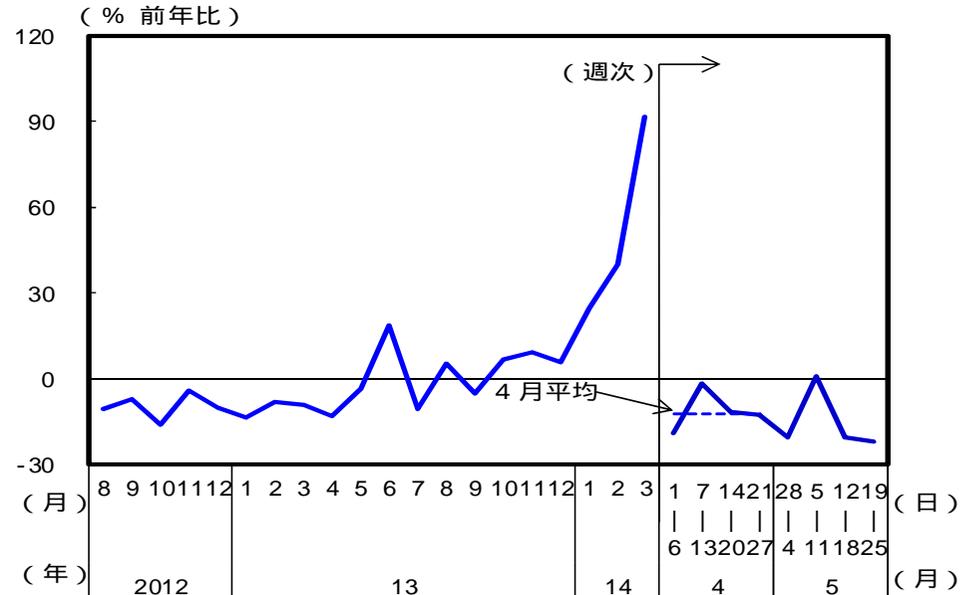
(備考) 1. 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会により作成。  
2. 内閣府による季節調整値を指数化したもの。

自動車販売台数（除軽、登録ベース）について、このまま推移すれば、5月全体の前年比は、4月と同程度の数字になる可能性。これは、足下の受注状況が若干改善しているものの、受注残による下支えが減少してきているためとみられる。  
【業界団体A】

軽自動車販売台数（届出ベース）について、このまま推移すれば、5月全体の前年比は、4月と同程度もしくは少し弱めの数字になる可能性（前年比プラスが若干のマイナス）。なお、5月に入ってから特別仕様車（割安で販売）が投入されたので、今後、その押し上げ効果に期待したい。  
【業界団体B】

主要5品目の家電販売は、5月第4週では、白物家電の売れ行きが不調だったこともあり、前年比20%程度減と、前週とほぼ変わらず。

家電販売金額（家電量販店主要5品目）（税抜き）



(備考) 1. GfKジャパン（全国の有力家電量販店販売実績を調査・集計）により内閣府作成。  
2. テレビ、エアコン、冷蔵庫、パソコン、携帯電話の5品目の合計。税抜き価格ベース。  
3. 主要5品目の販売状況の集計値であるため、2014年3月までは、前年比が高めに出る傾向があった。  
4. 2014年4月第1週は、駆け込み需要が大きく現れやすい3月31日が月曜に当たるため、その影響を除いて前年比を算出している。

5月第4週は、引き続き白物家電が不調だったことなどから、前週とほぼ変わらずとなった。全カテゴリーでも、前年比2割弱程度減と、前週からほぼ変わらず。品目別では、エアコンが、全国的な気温上昇を背景に、前年同週が好調だったため、マイナス幅が大きい。  
【市場アナリスト】

5月第4週は、前年比20%減となった。エアコンは前年が好調だったこともあり、前年比で大きくマイナスとなっている。  
【家電量販店】

